

## 大切な水と命

水がない生活を考えたことはあるだろうか。人間が生きていくために必要な水は、一日で約3リットルである。そう考えると水がない生活では人は命を落とすことになる。人間だけでなく、動物や植物、すべての生物が絶滅してしまうのだ。

今、私たちが当たり前に使っている「水」だが、水はどれだけ大切でどんな役割をしてくれているのか振り返ってほしいと思う。水がなかったら生物は体内に老廃物が溜まり、血液の流れが悪くなり命を落としてしまう、ということ。水を少しでも飲めない、2、3日で生命維持はとても難しいとされるといふこと。そうやって見ると、普段、当たり前のようにキレイな水を得ることができるといふのは、すぐ恵まれていたりなど感じる。現在、世界では約7億人の人々がこのわず

山添村立山添中学校 三年

井岡 愛菜

かな水が手に入らなく苦しんでいる。安全な水を得られなく、井戸や池など飲み物としては適さない水源に頼っている国がある。生きるために毎日11時間以上もかけ茶色い水を手に入れていて。小さい子供から大人までの人がたくさん苦労している。やつのことで手に入れた水が命をうばうことにもなるのだ。その水には、菌や泥などが混じった危険な水、どんなに汚くても生きていくにはこの水を飲むしかないのだ。私はこれを読み、胸が苦しくなった。今、私たちが水が欲しいとすると数分で安全でキレイな水が飲めることだろう。だが、その少しの水を何時間もかけ手に入れない。手に入れることができたとしても危険で体を壊し、最悪の場合は命にまでも関わるのだ。みんなも想像してみてほしい。世界の人がどれだけ苦しんでいるのか。実際に想像し、

考えることで今の私たちがとても幸せで恵まれた国なのか、また、辛い思いをしている人を助けるにはどうすれば良いのか考えることができる。私は少しでも苦しんでいる人を助けたと思う。そのためにいくつか解決策をだしてみようと思う。まず一つめは募金をするということ。少しのお金でもたくさんの命を救えることができるのだ。2つめは節水をする。一人一人が無駄な使用をなくすことで、資源をうまく利用することができる。食事などは必要な分だけ使い、飲み物はしっかりと飲みほせる分だけ注ぐこと。米のとき汁は養分が入っており良い肥料になるので水やりを使うなど頭を使い、視野を広げると様々な使い方をでき無駄のなくよりよい使い方ができる。また、水のだしっぱなしなどにも気を付けてほしい。これは、私たち一人一人が意識をし、みんなで協力することで絶対に解決ができるものだと思っている。だから私も今から少しずつやっていけたらと思う。日常生活でかかせない水は、当たり前前に飲めたり、安心な水を得られるというのを忘れないようにしたい。ほんの少しの思いやりや優

しさで世界の人が救われ、たくさんの笑顔が見ることができるとは、たぶんみんなが幸せで安心な世界にするのはとても難しいことだ。でも、少しずつ解決策をみんながやっていけば目標に近づけることができるのではないかと思う。まずは自分ができることから始めてみる。それがたくさんの人に伝わり、自分だけでなく色々な人が協力し合いかけがえのない未来を作っていけるに違いない。ほんの少しの勇気と思いやりで救える命があるように。